

思考、試行、シコウ、そして自学力

おはようございます。いよいよ 1 学期の終業式を迎えました。本日、私は、已むを得ず、他の公務を優先し、学校を留守にしております。申し訳ありません。中野真理副校長をはじめとした全教職員に留守を託しましたので、生徒の皆さんはしっかりとした姿勢・態度で 1 学期を締めてください。

さて、4 月 5 日の始業式、2・3 年生に対してこんなことを言いました。「私は言霊（言葉に宿る霊力）を大切にしています。港北高校には素敵な言葉が溢れています。それは、港北高校が幸福で満たされているということです」。(1 年生は翌 6 日が入学式です。)

「理想を高く（教育目標より）」では、一流になること、本物になることを求めました。世界は自分の能力の範囲でしか見ることができません。一流にならなければ、本物にならなければ見ることのできない世界が見える人になってください。

「明るく素直で前向きに（港北スピリットより）」では、よく言われる「作り笑いの健康効果」に重ねてお話ししました。「作り笑い」も「良い言葉の言霊」も同じことです。「明るく素直で前向き」な言動を続ければ、必ず幸福な気分になります。幸福とは、地位でも名誉でも財産でもありません。幸福とは気分のことです。良い言葉を発し、笑うことで気分は幸福になります。「明るく素直で前向きに」とはそういうことです。

ここまでの始業式です。そして、今日は「思港」です。「思港」の 2 文字にこめられた思いについては、思港祭のパフレットに掲載しましたので割愛し、本日は、「思港」に掛けられた「思考」と「試行」。そして、私が新たに発見した二つの「シコウ」について書きたいと思います。

まず、「思考」。自学力の前提は「自ら考える」こと、「自考」です。「自学自考」です。本校が「自学力」を前面に出すようになったのは、平成 25 年度からです。「思港祭」は開校 3 年目の昭和 46 年（1971 年）からです。このとき掛けられた「思考」が現在の自学力につながったのだと思います。ちなみに本校が取り組んでいるアクティブ・ラーニング（能動的な学習）を支えるものは「対話」と「自学自習」です。「思港」に掛けられた「思考」が、「自学力」「アクティブ・ラーニング」につながっていく。なんとも幸運な歴史ではありませんか。

次に「試行」。これにつながる私の考えは始業式でも言い、「進路の手引き」にも書きました。「じっとしていても何も変わらない。考えたら行動しよう。手と足を使って考えよう。とにかく何かを始めよう」これが、私の学校経営方針であり、皆さんに対する進路指導の方針です。失敗を恐れない。何かをすれば失敗もするし、成功もします。ただ、その失敗は何もしなかったときよりは、

確実にマンな失敗です。最大の失敗は、「何もしない」ことです。そして、この失敗を恐れない態度が、やはりアクティブ・ラーニングを支えています。「思港」に掛けられた「試行」が「自学力」「アクティブ・ラーニング」に…。なんとも幸運な…。

そして、私に、新たなシコウが閃きました。

「理想を高く（教育目標より）」から「一流になること、本物になること」へ。これは、「至高」です。

「明るく素直で前向きに（港北スピリットより）」から「幸福」へ。これは「至幸」です。

思考、試行、至高、至幸、そして自学力。もはや自学力は「港北生の『確かな学力』」を意味することに止まらず、「港北生の『生きる力』」の中核をなすものだとの思いに至り、このたび、自学力を定義し直しました。自学力の再定義にあたっては、これまで使われてきた何通りかの定義を総合すると共に、県教育委員会が示した「港北高校のミッション」も踏まえしました。（ミッションは本校だけでなく、各校それぞれに示されました。本校のミッションはホームページに掲載されています。）それでは、「自学力」の新たな定義を次に記します。自学力の言霊を信じて、広い意味での勉強（勉強と勉強以外）に取り組み、不確かな時代を生き抜く「確かな自分」を作り上げてください。

自学力＝課題を発見し解決するために必要な「自ら主体的に**学び続ける力**」

さて、夏休みです。わたしたちは、ふだん、重要であるか否かではなく、緊急であるか否かを重視して生活しています。「重要で緊急」、「重要ではないが緊急」、常に緊急性に追われて生活しています。1・2年生の夏休みは、「緊急ではないが重要」なことをやる時期です。重要なことには、時間がかかります。そして、いずれ緊急になります。なので、緊急になった段階では、「時間が足りない。間に合わない。諦めるしかない。」ということになります。3年生の皆さんの中には、そんな気持ちの方もいるかも知れませんが、しかし、それでは、いつまで経っても、緊急性に追われ、重要領域に入っていけません。「**急がば回れ**」、「急いで物事をなすとげようとするとき、危険を含む近道に行くよりも、安全確実な遠回りに行くほうが得策である」ということです。3年生は「**急がば回れ**」でしっかり勉強してください。それでは、皆さん、夏休みの時間を有効に管理し、健康第一で、重要領域にチャレンジしてください。

最後に、様々な形で自学力を発揮し、上位大会に進出するなどの活躍のあった皆さんを紹介します。

3年7組 檜山 悠理さん	関東高等学校選手権水泳競技大会 (7/24)
3年2組 富永 千春さん	NHK杯全国放送コンテスト (7/25~28)
	全国高等学校総合文化祭 放送部門 アナウンス部門 (8/1~3)
3年1組 清治 友未江さん	全国高等学校総合文化祭 書道部門 (7/30~8/1)
2年6組 栗田 佳樹さん	朝日アマチュア囲碁名人戦全国大会第3位
《野球部員の徳拾い》 名塚先生から「ある学校の野球部員は、学校周辺のゴミを自主的に拾っている。あれは、ゴミを拾っているのではなく、徳を拾っているのだ」という話を聞き、自主的に鶴見川の土手沿いのゴミを拾う。(それを見た地域の方から「感動した」「心が洗われた」とのお電話をいただきました。)	